

PC プロジェクタによる講演(実施要領)

一般社団法人 表面技術協会
学 術 委 員 会

「PC プロジェクタ」を使用したプレゼンテーションを、第 136 回講演大会におきましても下記のとおり実施いたします。講演時の PC プロジェクタのセットアップにつきましては、会場受付が対応させていただきますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。

1. プロジェクタによる講演について

- ① コンピュータは各自でご持参ください。
- ② 講演データのセットアップおよび動作確認は休憩時間などを利用して、必ず事前にお済ませください。
- ③ ご持参いただいたコンピュータを会場設置のプロジェクタにつないでの講演をお願いいたします。ただし、その場合に必要な接続コネクタ類は各自で準備してください。
- ④ 大会実行委員会から、プロジェクタの使用に当たっての注意事項が示される場合もありますので、大会実行委員会の情報にご注意ください。
- ⑤ コンピュータの立ち上げには時間が掛かります。講演者は予めコンピュータの電源を入れておくとともに、プレゼンテーションソフトを立ち上げて準備をしておいてください。
- ⑥ コンピュータ不良に伴う講演トラブルについては、講演者の責任で対処していただくようお願いいたします。
- ⑦ プロジェクタを用いて講演される方は、接続不調の場合に備え、講演内容のファイルを記録したメディア [USB メモリ(推奨)] を、バックアップ用に持参してください。
機器不調の場合でも講演時間の延長はできません。

2. 会場での状況

1) コンピュータとプロジェクタの接続など

液晶プロジェクタと(接続ケーブル及び)モニタ切替器は協会側で用意いたします。接続ケーブルのコネクタは Mini Dsub15 ピン 3 列です。このコネクタと持参されるコンピュータの映像出力端子が異なる場合は接続アダプターをご自身でご用意ください。また、音声の接続は行いませんのでご注意ください。

2) 講演会場での準備や注意点について

- ① 講演会場の前方に、スクリーンとの位置関係を勘案したうえで机を用意致します。そこにモニタ切替器を置きますので、コンピュータの起動や操作、トラブル対応などは講演者自身で行って頂きます。
- ② 起動時や警告時における音声により、他の講演者や聴衆の迷惑となる恐れがありますので、コンピュータの音声出力レベルは「0」にしておいてください。
- ③ 講演会場には電源コンセントを用意いたします。当日朝の講演開始前、もしくは昼休みなどに講演会場での動作の確認をお願いします。
- ④ ご講演いただくセッションの開始前までに、モニタ切替器に接続していただき、セッション終了時まで接続したままでお願いします。また、待機時間に、電源が自動的に落ちないように設定変更をお願いします。
- ⑤ 発表終了後は、ただちに次の講演者へマイクなどをお渡しく下さい。コンピュータの終了操作などは、その後に行ってください。
- ⑥ プロジェクタに投写されない場合は、映像信号出力先の変更をお試しく下さい。コンピュータによっては接続後に映像信号出力先を切替える必要があります。
- ⑦ プロジェクタでの発表においてリセットなどを行いロスタイムが生ずる場合には、その時間を講演時間に含めるものとします。

セットアップ等に関して不明な点は、各会場の受付にお尋ねください。

講演者の皆様へー事前準備のご参考までに

- ① Power point 系で作成した講演内容のファイル。例えば、2003 の version で動作確認をお願いします。
- ② 講演内容のファイルを記録した下記のいずれかのメディアを、バックアップ用に持参してください。ご持参いただいたコンピュータが不調(事故)の場合の対策として、大会本部に、予備のコンピュータを用意いたしております。
USB メモリ(推奨) USB2.0(協会準備パソコンは USB1.1 ポートです。)